

ドイツ語学習のおすすめの教材

01 『手紙・メールのドイツ語』 マルコ・ラインデル著；久保川尚子訳 三修社

ドイツ留学をした際に、持って行ってよかったと思えた唯一の本です。日本では、例えば買ったものに何か問題が起こったら、電話で問い合わせをするのが主流ですが、ドイツでは違います。ドイツでは全て、ビジネスの場面においても、電話ではなくメールでやりとりをしなければなりません。なのでドイツ語には、「手紙・メー

ルのドイツ語」と呼ばれるものがあります。私も実際、銀行や携帯会社で何か問題が起こったときは、全てメールで問い合わせをしました。その時にとても役に立った本です。留学用としてだけでなく、勉強法の一つとしても、ドイツ語には様々な表現の仕方があることを学ぶことができるので、とてもおすすめです。

02 『改訂版 必携ドイツ文法総まとめ』 中島悠爾,ほか著 白水社

ドイツ語検定 2 級を目指すならこの本をぜひ使ってください！基礎文法はもちろん、2 級に必要なレベルの文法がまとめてあります。私も 2 級の勉強をする際は、過去問とこの本を併用し合格できました。特に私はこの本の中でも「格

の用法」(p.77)と「配語」(p.147)を見た時に、ドイツ語って面白いなと感じました。この本は小さいので、携帯しやすく、本当に持っていて損はないと言えます。

03 『初期新高ドイツ語』 工藤康弘, 藤代幸一著 大学書林

ドイツ語の文法がある程度できるようになったら、ドイツ語の文法や名詞の歴史的な変化にも注目してみてください。著者の工藤先生は、1350 年～1650 年頃の初期新高ドイツ語というドイツ語の時代区分の日本の第一線で研究をされている方で、以前本校にも集中講義で来てくださいました。グーテンベルクの活版印刷術の発明以降、メディアが広まるようになり、この頃からドイツ語の書記法が次第に確立してい

きます。句読点や大文字書きから、統語論では 2 格の用法や接続詞の発展など、少し難しいかもしれませんが、読めばドイツ語の興味を引き出してくれることに間違いはありません。ドイツ語史にとってターニングポイントの一つである、ルターの時代にも踏み込むことができると思います。卒論にも使える本なので、ぜひ読んでみてください。

04 『中級ドイツ語のしくみ』 清野智昭著 白水社

ドイツ語学科の学生やドイツ語を第二外国語で履修している学生にお勧めする本です。これは教科書や堅苦しい文法書のような本ではなく、コラムのように一つ一つの文法を短くわかりやすく楽しく解説してくれていて、皆さんが初級で習った、気づかずに用いていた文法の謎を解

き明かしてくれる本です。頭から読まなくとも、興味のある所だけをつまんで読んでもいいと思います。この本を読んだあなたは、ドイツ語の理解と興味がより一層深まり、確かなステップアップにつながると思います。

05 imiwa? (辞書アプリ/iphone に対応)

ドイツの友人たちが日本語の辞書としてこのアプリを利用していました。本来は外国人が日本語を学ぶためのアプリですが、日本人もドイツ語だけでなく、英語、フランス語、韓国語など、設定すれば 9 ヶ国語の辞書になるので、単語を調べ

たり、他の言語との言い回しを比較したり、例文を見たりして、言語を学ぶことができます。ただ全て英語で書かれてあるので、慣れるのが大変です。

06 Düsseldorf(ウェブサイト)

役立つドイツ語の紹介です。例えば日常生活に使われる名詞で、水回りの清掃用品や調理道具など、たくさん名詞が載っていて、とても見やすく覚えやすいです。

日常生活以外にも、医療編や買い物編など、

名詞だけではなく会話も載っているので、非常に便利なサイトです。

<https://www.duesselnet.com/>



07

Frankfurter Allgemeine(ドイツの新聞のウェブ版)

新聞のドイツ語は、規範の文法で書かれていますし、話し言葉のように砕けていないので、これを日本語に翻訳することはとてもいい勉強になると思います。新聞の中でも、コラムやインタビュー記事は、わりと話し言葉でそのまま書かれていることが多いので、リアルなドイツ語

も見ることができると思います。勉強のためではなく、ドイツやヨーロッパの事情にもアンテナを張っておいたほうがいいので、ドイツ語の新聞を読んで情報を得るためにも有効だと思います。

<http://m.faz.net/aktuell/>



2022.2.7